

■ 網走かわまちづくり検討会

■ 網走かわまちづくり検討会の開催状況

網走かわまちづくり計画に対して、網走市内で様々な活動をされている方々からご意見をいただく場として、網走市が「網走かわまちづくり検討会」を設置しました。

現在までの開催状況は以下の通りです。

開催年月日	検討会
2015年10月30日(金)開催	第1回 網走かわまちづくり検討会
2015年12月10日(木)開催	現地見学会
2015年12月21日(月)開催	第2回 網走かわまちづくり検討会

■ 第2回 網走かわまちづくり検討会

日時：平成27年12月21日(月)10:00～12:00

場所：網走市役所西庁舎2階 会議室

議事次第：

1. 開会
2. 議事質疑
 - 1) 前回検討会・現地見学会の要旨
 - 2) 水辺とまちづくりの基本方針(案)
 - 3) ハード施策(案)
 - 4) ソフト施策(案)
3. 今後の予定
4. 閉会



第2回 網走かわまちづくり検討会の様子

□ 出席者

伊倉 直樹	石原 基	井戸 達也	井上 範一
清杉 利明	榎原 宏洋	佐藤 進介	杉本 匡規 (委員長)
高井 秀利	田口 徹 (代理出席 笹川 直人)	立花 学	中嶋 桃子 (欠席)
中村 圭	野中 真吾	林 将行	吉村 学 (欠席)

(五十音順)

第2回 網走かわまちづくり検討会 議事要旨

日 時：平成27年12月21日(月) 10:00~12:00

場 所：網走市役所西庁舎2階 会議室

出席者：伊倉委員、石原委員、井戸委員、井上委員、清杉委員、榊原委員、佐藤委員、杉本委員、高井委員、田口委員(代理出席者 笹川)、立花委員、中村委員、野中委員、林委員 計14名

議事要旨

1. 開会
2. 議事質疑

(1) 前回検討会・現地見学会の要旨

第1回網走かわまちづくり検討会及び現地見学会の要旨について、事務局(網走市)から説明した。

(2) 水辺とまちづくりの基本方針(案)

水辺とかわまちづくりの基本方針(案)について、事務局(網走市)から説明した。

(3) ハード施策(案)

網走かわまちづくりで考えられるハード施策(案)について事務局(網走開建)から説明し、委員から以下の発言があった。

- ・ハード施策については、事務局提示の案で異議なし。
- ・エコーセンター側の網走橋のたもとに降りるための階段を整備してほしい。中心商店街方面から網走橋を渡って来た方々が、橋から直接エコーセンター前の水辺へ降りられる動線があれば、利用者が増え、にぎわいにつながると思う。
- ・網走橋のたもとに階段があれば、災害時の避難路としても活用できると思う。
- ・網走橋の橋台の高さまで盛土をして、スロープや階段で動線をつくり、視覚的な仕掛けを作れば、道の駅から観光客等の人の流れが生まれると思う。見晴らしも良く、トンネル(ボックスカルバート)を通行するよりも、網走川左岸の広場全体を見渡すことができる。
- ・網走橋に盛土をした場合のエコーセンターまでの動線は、かなり長い距離になるものと思われる。
- ・現在は、網走橋付近の左右岸に古い階段があるが、存在を知る人しか利用していない。案内看板でもない限り、観光客等の市外の人には利用しないのが現状だと思う。
- ・現地見学会でベーシック前の川辺を歩いた時に、「オホーツクの並木道」という名称が付いているのを初めて知った。道内の近隣市町村の樹木が植えてあり、散策路となっていた。地元の人でも知らないようなものが多々あるように思えた。
- ・ベーシック前の川辺の広場はトイレも近くにあるため、小規模なイベント等を行う時には使い勝手が良いと思う。
- ・動線確保の手段としてトンネルを作った場合、暗いイメージのトンネルだったら怖くて利用者

が増えないと思うので、照明やその他の手段で明るいイメージのトンネルにしてほしい。

- ・平成 28 年 7 月開催予定のオホーツクサイクリングでは、今まで国道 39 号を通過していたが、大曲橋横の坂路を上から下へ降りて網走川右岸を通るコース設定となる。一方、平成 28 年 10 月開催予定の全国サイクリング大会では、大曲橋横の坂路を下から上へ登るコースとなる。
- ・オホーツクサイクリングは継続予定であり、全国サイクリング大会終了後にコースが整備されれば、事務局がコースを紹介しやすくなる。
- ・サイクリングコースの要所要所にルートの案内看板があれば、サイクリングを楽しむ人には分かりやすいと思う。
- ・網走橋に盛土した場合、勾配によっては自転車も通行可能であると思われるが、付近の住民に圧迫感を与えないような配慮が必要だと思う。
- ・網走川右岸の後藤田医院付近の河川敷に一般の車が駐車できるスペースがあるため、自転車での動線が駐車している車により分断されてしまう。何とかならないものか。
- ・道の駅のレンタサイクル利用者向けに、サイクリングコースの案内看板を整備したらどうか。
- ・案内看板の表記は多言語で表記した方がよい。
- ・統一された案内看板でルートと現在地を表示すれば、見やすく利用しやすいと思う。
- ・看板にはトイレの位置がわかるようにしたらありがたいと思う。
- ・河川管理上の基準を満たしていれば、大曲堰に道路を通すのは可能である。
- ・天都山方面から大曲湖畔園地に直接行けるルートができれば、大曲湖畔園地の価値が相当高まり、大曲湖畔園地を年間で使用する計画が立てやすくなると思う。
- ・カヌー乗り場の設置については、現状で既に自然河岸が利用されており、かわまちづくり計画へ盛り込むことは問題ない。
- ・網走湖畔のカヌー乗り場へのアクセスが良くなればと思う。

(4) ソフト施策(案)

網走かわまちづくりで考えられるソフト施策(案)について、委員から以下の発言があった。

- ・網走川沿いの動線が確保された後に、網走市で今後の利用方法や看板設置等を考えていくことになる。
- ・網走マラソン 5km コースを走るために海外から多数のランナーが来ており、本州からのランナーも 10km やそれ以下のコースに参加している。今後は、網走川沿いの景観の良いルートで短い距離のコース設定ができればと考えている。
- ・ウォーキングを楽しむ人たちは 5km 以上(7~8km 程度) 歩くと思うので、ウォーキングのルート設定はその程度の距離を検討した方がよいと思う。
- ・網走川左右岸のアクセスを向上させループ化させることが重要であると思う。
- ・網走川左岸(網走刑務所側)の動線の活用も将来的には検討したいところである。
- ・スマートフォンのアプリを作成して、QR コードでルートや各種施設(トイレ、コンビニ等)を表示すれば、利用しやすいと思う。今後は、案内看板を見ながらではなくスマートフォンを利用して散策する方々が増えると思うし、Wi-Fi 等で対応できれば外国人観光客も増加すると思う。
- ・自転車のルート等のアプリを作ればナビとして利用でき、面白いと思う。
- ・単純なウォーキングイベントよりも歩きながらの宝探し等、ゲーム性の高いイベントを行った

- ら、子ども達にも人気となり参加者が増えるのではないかと思います。
- ・最近の子供たちは体力が低下しているので、知らず知らずのうちに運動している仕掛けを作ればよいのではないか。
 - ・外国人が観光で訪れてもガイドがいないと面白さに気づかず、帰ってしまっているのではないか。
 - ・網走市内のホテルの中には、宿泊客に対して、出発までの時間に合わせた観光案内を行っており、観光地や施設まで送迎をしているところもある。そういう体験をした観光客は、次回はもっと時間をかけて網走へ来ようという気持ちとなっているようである。
 - ・4条通りは、ウォーキングや散歩するにはとてもいいルートだと思う。日中でもアーケードがあるので、小さな子供がいるお母さんたちには、雨や直射日光が防げるので絶好の散歩道だと思う。
 - ・網走川筋の動線の中に、中央商店街を取り込むのも良いと思う。
 - ・今回の多様な発言内容については、「短期的にできるもの」「少し時間がかかるもの」「長期的な展望で行う必要があるもの」という区分けをしながら、かわまちづくり計画に盛り込むのがよいと思う。

以上